

アンケート調査結果のご報告

このたびは「北星学園女子中学高等学校学校生活等についてのアンケート調査」にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

本調査は、北星学園女子中学高等学校に対して在校生・保護者の皆様がお感じになられているご意見・ご感想をお伺いしより良い学校づくりの参考とさせていただくために、実施いたしました。

アンケート調査結果がまとまりましたので、謹んでご報告申し上げます。また、調査結果をもとに、今後学校としてどのような対応をしていくのかを学内で議論・検討し結果を記載しましたのでご覧ください。

北星学園女子中学高等学校 校長 浅里慎也

● 対象者：本校に通学する中・高3までの在校生 保護者

● 実施時期：2016年11月

● 配布・回収数：【在校生】 中学生:207 通配布 → 194 通回収(93.7%)

高校生:674 通配布 → 601 通回収(89.2%)

※高2-Gの40名は留学中のため調査せず。

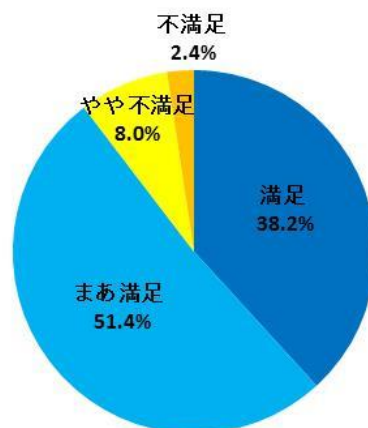
【保護者】 中学生:207 通配布 → 171 通回収(約82.6%)

高校生:674 通配布 → 511 通回収(約75.8%)

1. 在校生の結果

◎ 総合満足度

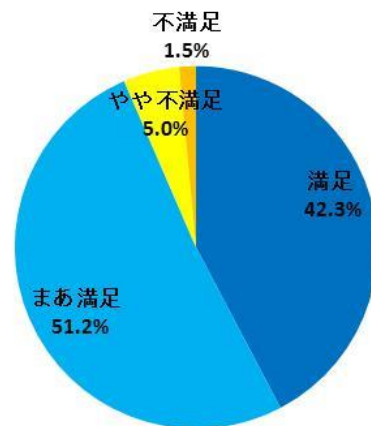
昨年までと同様に約9割の生徒が「満足」「まあ満足」と回答しました。一方で1割少々は「(やや)不満足」としていることを真摯に受け止め、原因の理解と改善に努めます



2. 保護者の結果

◎ 総合満足度

高い評価をいただきましたが、「(やや) 不満」をゼロに近づけ、「満足」をさらに高めていくために、その他のアンケート結果や、フリーアンサーのご回答を活用してまいります



3. アンケート結果を受けての振り返り

アンケートの結果を振り返り、次の5つの観点ごとに現状の理解と改善策などを整理します。

a. 学習指導

「成績下位者をケアする指導」について、多くのご意見を頂きました。従来行っている学習支援・サポートの体制を今一度見直すことで充実を図っていきます。また、これまでは、定期考査の出題範囲と試験時間割についての連絡が不十分であるという指摘がありました。その対策として、出題範囲については考査の2週間前、試験時間割については一週間前までには、しっかりと提示をして、生徒の学習意欲を涵養させます。さらに、今年度は「スタディサプリ」を導入しましたが、まだ利用状況に課題があります。中学で導入している「すらら」の利用促進も併せて、活用の方法やサポートについて、周知させ、学習の機会を増やすことから行います。

2016年12月に新しい学習指導要領の骨子が公表されました。本校では、いち早く「新しい学力観」に基づいた授業を創造するための検討をしています。例えば、「主体的で、対話的な深い学び」(アクティブ・ラーニング)を展開するために、研究授業や研修会を開催して、共通理解を図っています。2017年度には、新しい授業を創造するために、アンケートの項目から見直し、生徒が意欲的に授業に参加できるような取り組みを行います。

b. 進路指導

進路ガイダンスの充実を望むご意見を頂きました。限られたガイダンスの時間が有意義なものとなるよう各部署が連携し、工夫していきます。併せて、6年間を見通した進路年間計画を有効利用することで低学年からの進路指導をより充実させます。また、進路に関わる情報の周知についてのご指摘もありました。学校ホームページにおいて「進路だより」を閲覧できるようにすることで、ご家庭に情報が行き届くようにします。

c. 生活指導・情操教育

指定コート・靴についてのご意見を多数頂きました。登下校も含め、過ごしやすい学校生活を目指して検討、改善を図ります。また、今年度はSNSに関わる問題があったこともあり、中学1・2年生を対象として、10月に外部講師による講演会を開催しました。今後はすべての学年で、学校・ご家庭双方からの指導が必要となることを確認しました。

d. 学習・クラス環境

教室の学習環境の整備の一環として、教室の机・椅子の買い替えを行っています。2017年4月には4年計画の2年分として、6学年中4学年の買い替えを終えます。2019年度4月にはすべてのクラスに新しい机・椅子が入る予定です。

e. 教職員

教職員の言動について、多くのご指摘を頂きました。信頼関係の構築が最も重要な学校という場において、大変大きな課題であると受け止めております。第三者も交えた研修を行うなど改善に励んでいきます。また、学校の様子が十分に伝わっていないことがフリーアンサーからもうかがえました。学校通信「ライラックの風」「進路だより」「ほけんだより」「年間行事予定表」は学校ホームページで閲覧できるようにし、少しでも学校の様子が伝わるようにします。また、今年度からメール配信のシステムを導入しましたが、うまく活用しきれなかった面があると感じています。より有効な活用をこころがけます。

本校では、めざす生徒像「自分らしさを大切に、他者と共に生き、輝くことができる女性」と設定しています。そして、15の資質・能力を定めています。次年度からは、生徒像や15の資質・能力を教室に掲示して、教職員はもちろんのこと、生徒・保護者の方にもご理解をいただき、教育活動を行うことを確認しました。